

学習内容報告書 フォーマット

学校名	大阪市立豊崎小学校
授業者	長谷川 舞

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

海を知る

1-2. 学年

第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

- ①「帆船みらいへ」について知る
 - ・帆船の仕組みを知る知ろう
 - ・潮の満ち引きと海流について知ろう
 - ・海図の見方について知ろう
- ②海の問題を考える
 - ・海岸にはどんなごみがあるのだろう
 - ・なぜ「海ごみ」が存在するのだろう
 - ・マイクロプラスチックとは
 - ・「海ごみ」による海の生き物への影響を知る
- ③修学旅行に向けてクラス旗を作ろう

1-5. 単元設定の理由・ねらい

児童はこれまで、国語科や社会科、理科の学習で地球の環境問題について学習してきた。ごみのリサイクル問題や海洋生物への影響、地球温暖化や気候変動など日本と世界が抱える環境問題について話し合い、その都度考えてきた。「海ごみ」の多くは、発泡スチロール、プラスチック製品、ポリ袋などの生活用品である。しかし、それらはどこから来たのか、またそれが環境にどう影響するのかを知らない児童がほとんどだった。

そこで、児童にもっと海洋汚染の現状について知って欲しいと考えた。まず、考えさせたのは、そのごみはなぜ環境に悪影響なのかということだ。さらに、「マイクロプラスチック」を取り上げた。そこで初めて、人体にも影響する可能性があることを知った。

帆船で修学旅行に行き、友ヶ島でシュノーケリングを行うこの機会に、児童の環境に対しての意識を高めたいと考えた。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

日常生活において海や船に触れる機会が少ない中で、事前学習を通じて多面的に海に触れる機会となり、海への興味や関心を高める。

1-7. 単元の展開（全 6 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ・ 2	①「帆船みらいへ」について知る ・帆船の仕組みを知ろう ・潮の満ち引きと海流について知ろう ・海図の見方について知ろう	○日常生活において海や船に触れる機会が少ない中で、学習を通じて多面的に海に触れる機会となり、海への興味や関心を高める。 ・興味や関心をもちながら「帆船みらいへ」について学ぶことができたか。
3 ・ 4	②海の環境問題を考える ・海岸にはどんなごみがあるのだろう ・なぜ「海ごみ」が存在するのだろう ・マイクロプラスチックとは ・「海ごみ」による海の生き物への影響を知る	○自分たちの生活が地球環境を脅かしているという事実を知り、自分たちにできることを探して行動していこうとする意欲を高める。 ・海の環境問題について主体的にかんがえることができたか。 使用教材：深刻な海洋汚染の原因（映像）
5 ・ 6	③修学旅行に向けてクラス旗を作ろう	○クラスの旗を修学旅行中に「帆船みらいへ」に掲げることを知らせ、修学旅行に向けて、心を合わせ協力することや、助け合い、認め励まし合うことの大切さを学ぶことへと意識を高める。 ・友だちと協力してクラス旗をつくることができたか。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

「海を知る」活動を行うことで、海を身近なものとして捉え、「海の環境と人間生活との関わり」について、自身の課題として考えることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
1、帆船の仕組みを知ろう	○自分たちが修学旅行で乗船する「帆船みらいへ」について、帆船はどのような仕組みで進むのかについて興味をもって学ぶことができるようにする。 ・帆船について触れる事で、修学旅行に対する意欲を高めることができたか。
2、潮の満ち引きと海流について知ろう	○潮の満ち引きや海流について、社会科で学習したことを想起させながら学習するようにする。 ・大阪湾の潮の満ち引きや流れについて理解できたか。
3、海図の見方について知ろう	○大阪湾の海図を見て、航海に必要な水路の状況、水深、海岸地形、海底危険物や航路標識などが正確に見やすく表現されていることを知る。また、大阪湾と紀伊水道を分ける紀淡海峡をふさぐ形で立地する友ヶ島の位置を確認し、「海ごみ」が流れ着く要因について考えることができるようにする。 ・海図の見方と、友ヶ島について理解することができたか。

3. 今回の活動の自己評価

修学旅行に向けての事前学習で、帆船みらいへの方に学校に来ていただき、「帆船のしくみ」や「海の満ち引き・海流」について教えていただき、「海の環境や水を大切にするために自分たちにできることは何か」を考えた。授業では、これまで小学校で学んだ社会科や理科、算数科などの内容が、海流や海の満ち引き、帆船の操縦を理解するために活用されていることを知り、学校で学ぶことの重要性を再認識することができた。また、自分たちの生活が地球環境を脅かしているという事実を知り、自分たちにできることを探して行動していこうとする意欲を育てることができた。

4. 今後の課題

自分たちが修学旅行の事前学習で学んだことを、これからの自分の生き方に生かせるよう、常に意識させていく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。